

別記様式(第8条関係) (その1)

令和7年5月26日

燕市議会 議長 様

会派名 創成
経理責任者 齋藤 和也

令和6年度政務活動費収支報告について

燕市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり令和6年度政務活動費収支報告書を提出します。

別紙

政務活動費収支報告書

会派名 創成

1 収 入

(単位: 円)

項 目	金 額	備 考
政 務 活 動 費	960,000	
合 計	960,000	

2 支 出

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	865,150	
研 修 費	0	
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
要 請・陳 情 活 動 費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	0	
人 件 費	0	
事 務 所 費	0	
合 計	865,150	

3 残 額 94,850 円

第4号様式

支出一覧(令和6年度)

会派名 創成

(単位:円)

整理番号	日付	項目	細目	摘要	支出額	充当額
0001	11.12	調査研究費	その他	視察先お土産代	7,125	7,125
0002	11.13	調査研究費	食事代		16,000	16,000
0003	11.13	調査研究費	食事代		9,076	9,076
0004	11.13	調査研究費	宿泊費		104,000	104,000
0005	11.13	調査研究費	交通費		66,400	66,400
0006	11.13	調査研究費	交通費		340,000	340,000
0007	11.14	調査研究費	その他	保険料	8,800	8,800
0008	11.14	調査研究費	宿泊費		104,000	104,000
0009	11.14	調査研究費	食事代		16,000	16,000
0010	11.14	調査研究費	食事代		21,450	16,000
0011	11.14	調査研究費	調査委託費		2,400	2,400
0012	11.15	調査研究費	食事代		14,800	14,800
0013	02.16	調査研究費	その他	視察土産代	1,920	1,920
0014	02.18	調査研究費	食事代		12,000	12,000
0015	02.18	調査研究費	その他		6,600	6,600
0016	02.18	調査研究費	宿泊費		50,160	50,160
0017	02.18	調査研究費	交通費		440	440
0018	02.18	調査研究費	交通費		5,360	5,360
0019	02.18	調査研究費	交通費		1,540	1,540
0020	02.18	調査研究費	交通費		800	800
0021	02.18	調査研究費	交通費		50,380	50,380
0022	02.18	調査研究費	食事代		835	835
0023	02.18	調査研究費	食事代		2,320	2,000
0024	02.18	調査研究費	食事代		1,420	1,420
0025	02.18	調査研究費	食事代		1,080	1,080

整理番号	日付	項目	細目	摘要	支出額	充当額
0026	02.18	調査研究費	食事代		933	933
0027	02.18	調査研究費	食事代		753	753
0028	02.18	調査研究費	交通費		8,430	8,430
0029	02.19	調査研究費	食事代		1,000	1,000
0030	02.19	調査研究費	食事代		1,053	1,053
0031	02.19	調査研究費	食事代		2,800	2,000
0032	02.19	調査研究費	食事代		1,300	1,300
0033	02.19	調査研究費	食事代		1,000	1,000
0034	02.19	調査研究費	交通費		4,863	4,863
0035	02.19	調査研究費	交通費		3,950	3,950
0036	02.20	調査研究費	食事代		732	732
合計						865,150

支出伝票

0001

(1/2)

日付	令和6年11月12日	支出額	7,125 円
項目	調査研究費	充当額	7,125 円
細目	その他	按分率	
支払先	飴屋本舗		
摘要	視察先お土産代		
備考			

支出伝票

0001

(2/2)



支出伝票

0002

(1/2)

日付	令和6年11月13日	支出額	16,000円
項目	調査研究費	充当額	16,000円
細目	食事代	按分率	
支払先	召し屋 グリとニル		
摘要			
備考			

支出伝票

0002

(2/2)



第1号様式

支出伝票

0003

(1/2)

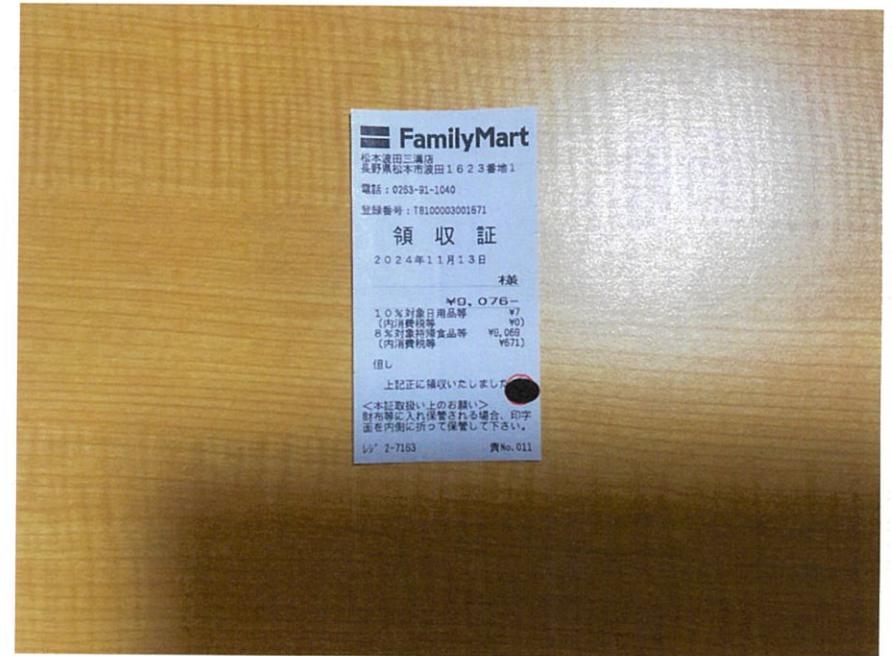
日付	令和6年11月13日	支出額	9,076 円
項目	調査研究費	充当額	9,076 円
細目	食事代	按分率	
支払先	FamilyMart 松本波田三溝店		
摘要			
備考			

第1号様式

支出伝票

0003

(2/2)



支出伝票

0004

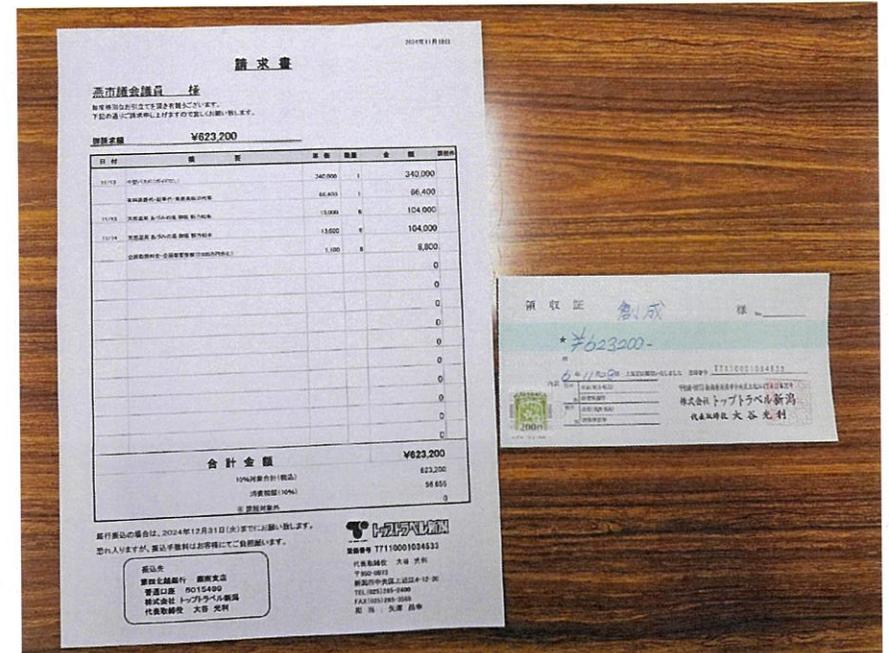
(1/2)

日付	令和6年11月13日	支出額	104,000 円
項目	調査研究費	充当額	104,000 円
細目	宿泊費	按分率	
支払先	トップトラベル新潟		
摘要			
備考			

支出伝票

0004

(2/2)



第1号様式

支出伝票

0005

(1/2)

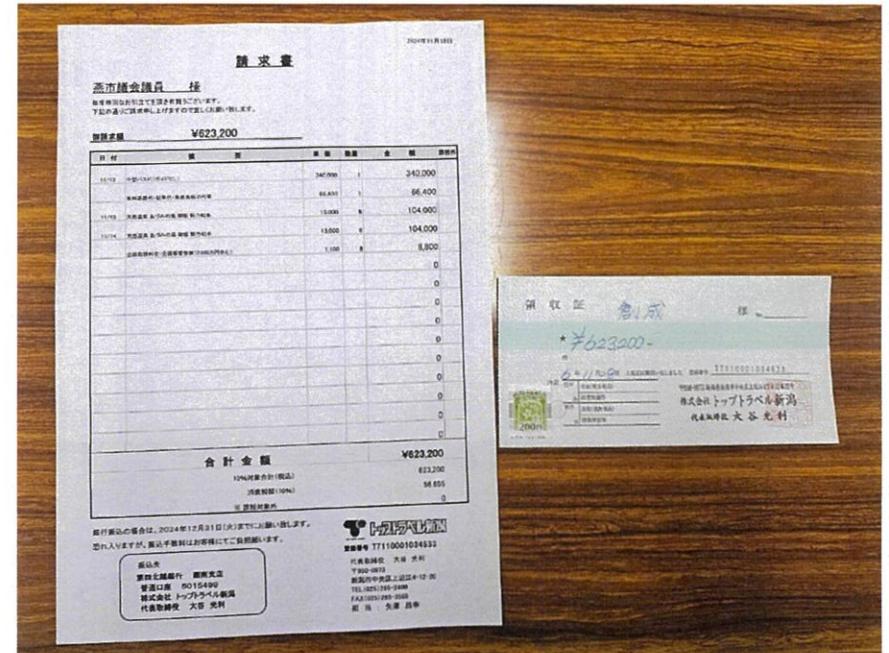
日付	令和6年11月13日	支出額	66,400 円
項目	調査研究費	充当額	66,400 円
細目	交通費	按分率	
支払先	トップトラベル新潟		
摘要			
備考			

第1号様式

支出伝票

0005

(2/2)



支出伝票

0006

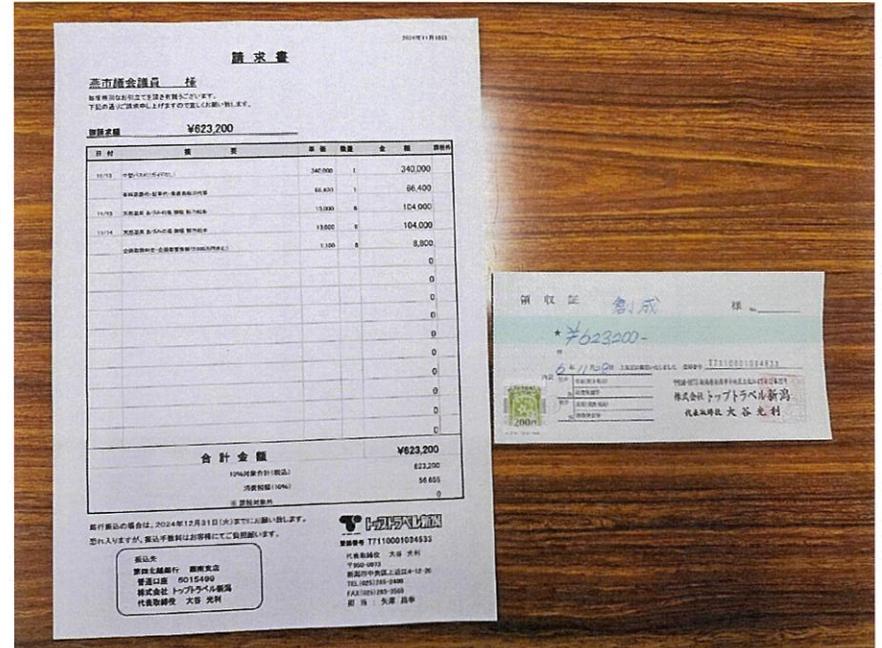
(1/2)

日付	令和6年11月13日	支出額	340,000 円
項目	調査研究費	充当額	340,000 円
細目	交通費	按分率	
支払先	トップトラベル新潟		
摘要			
備考			

支出伝票

0006

(2/2)



第1号様式

支出伝票

0007

(1/2)

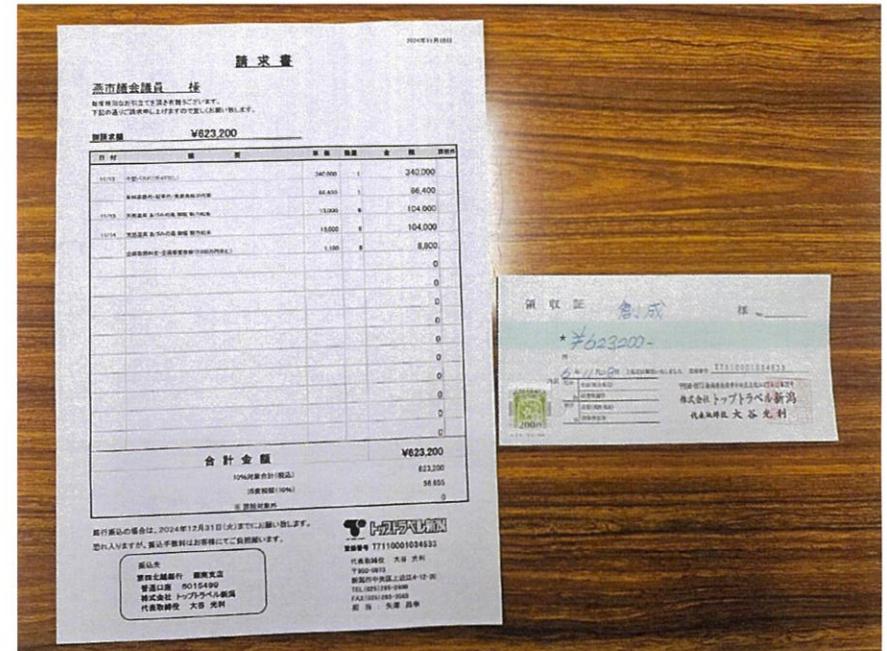
日付	令和6年11月14日	支出額	8,800 円
項目	調査研究費	充当額	8,800 円
細目	その他	按分率	
支払先	トップトラベル新潟		
摘要	保険料		
備考			

第1号様式

支出伝票

0007

(2/2)



第1号様式

支出伝票

0008

(1/2)

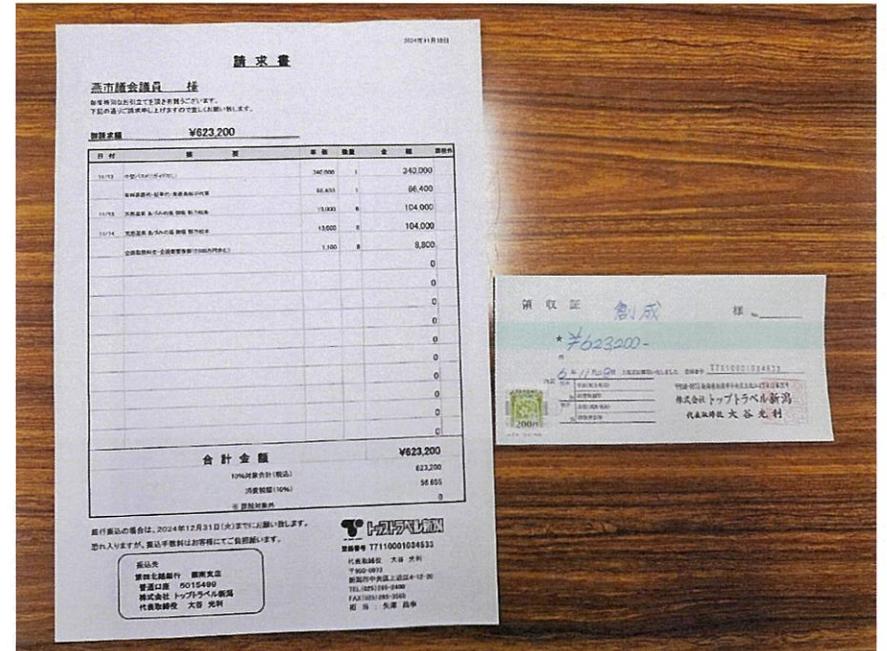
日付	令和6年11月14日	支出額	104,000 円
項目	調査研究費	充当額	104,000 円
細目	宿泊費	按分率	
支払先	トップトラベル新潟		
摘要			
備考			

第1号様式

支出伝票

0008

(2/2)



支出伝票

0009

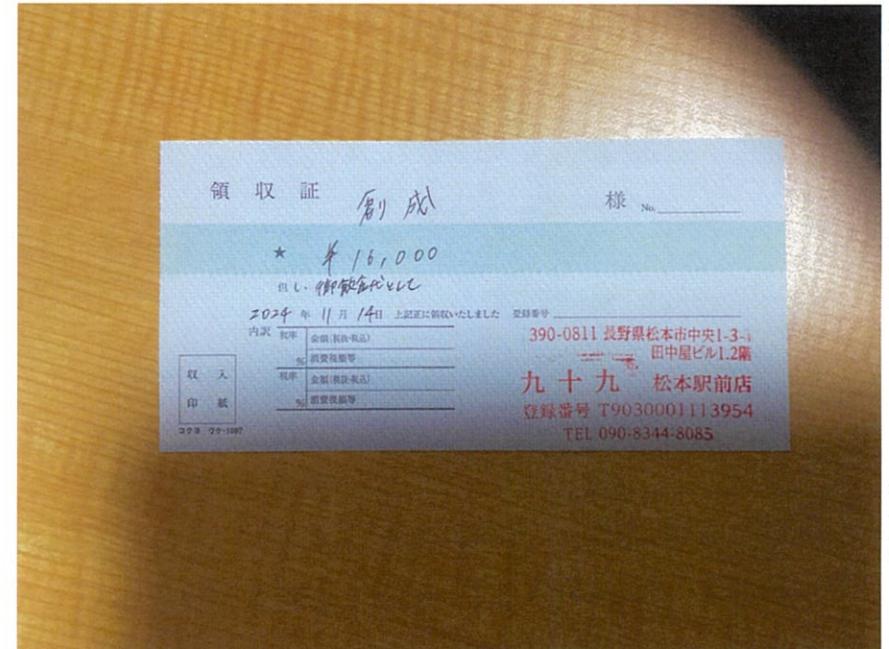
(1/2)

日付	令和6年11月14日	支出額	16,000 円
項目	調査研究費	充当額	16,000 円
細目	食事代	按分率	
支払先	個室居酒屋 九十九		
摘要			
備考			

支出伝票

0009

(2/2)



第1号様式

支出伝票

0010

(1/2)

日付	令和6年11月14日	支出額	21,450円
項目	調査研究費	充当額	16,000円
細目	食事代	按分率	
支払先	IL FAGGIO		
摘要			
備考			

第1号様式

支出伝票

0010

(2/2)



第1号様式

支出伝票

0011

(1/2)

日付	令和6年11月14日	支出額	2,400円
項目	調査研究費	充当額	2,400円
細目	調査委託費	按分率	
支払先	カゴメ株式会社		
摘要			
備考	ファクトリーツアー料 300円×8名		

第1号様式

支出伝票

0011

(2/2)



第 1 号様式

支出伝票

0012

(1/2)

日付	令和 6 年 11 月 15 日	支出額	14,800 円
項目	調査研究費	充当額	14,800 円
細目	食事代	按分率	
支払先	一般財団法人小布施町振興公社		
摘要			
備考			

第 1 号様式

支出伝票

0012

(2/2)



支出伝票

0013

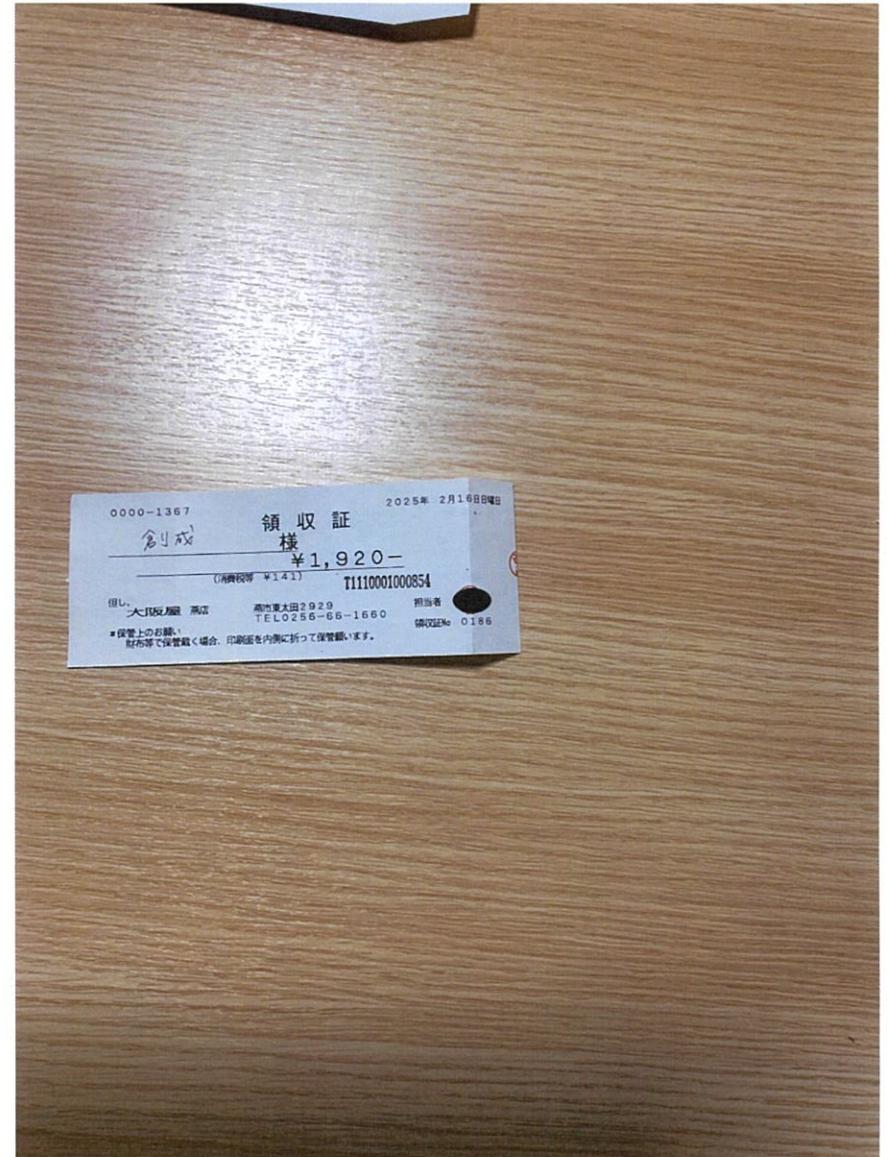
(1/2)

日付	令和7年2月16日	支出額	1,920 円
項目	調査研究費	充当額	1,920 円
細目	その他	按分率	
支払先	大阪屋燕店		
摘要	視察土産代		
備考			

支出伝票

0013

(2/2)



支出伝票

0014

(1/2)

日付	令和7年2月18日	支出額	12,000 円
項目	調査研究費	充当額	12,000 円
細目	食事代	按分率	
支払先	大衆食堂 安べ系 富山駅前店		
摘要			
備考			

支出伝票

0014

(2/2)



支出伝票

0015

(1/2)

日付	令和7年2月18日	支出額	6,600 円
項目	調査研究費	充当額	6,600 円
細目	その他	按分率	
支払先	トップトラベル新潟		
摘要			
備考			

支出伝票

0015

(2/2)

請求書 2025年2月28日
山梨県会議員 様
 毎度様にお引立てを頂き感謝しております。
 下記の通りご請求申し上げますので宜しくお祈りいたします。

品名	単 位	単 価	数 量	合 計	備 考
トナリ 業務用食品検査用試薬		8,200	1	8,200	
トナリ トンネルビルドアップ材料		50,380	1	50,380	
トナリ 調査研究費(その他)		1,100	1	6,600	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
合 計 金 額				¥107,140	
10%消費税(税込)				107,140	
消費税額(10%)				9,740	
※ 経理対象外				0	

銀行振込の場合は、2025年3月31日(月)までお願いいたします。
 恐れ入りますが、振込手数料はお客様にてご負担願います。

トナリ 株式会社
 〒950-0073 新潟市中央区上田本4-15-20
 TEL:0251-293-2400 FAX:0251-293-2500
 代 理 大谷 光利

領収証 金額 様
 * ¥107,140-
 77110001034533
 株式会社 トップトラベル新潟
 代表取締役 大谷 光利

支出伝票

0016

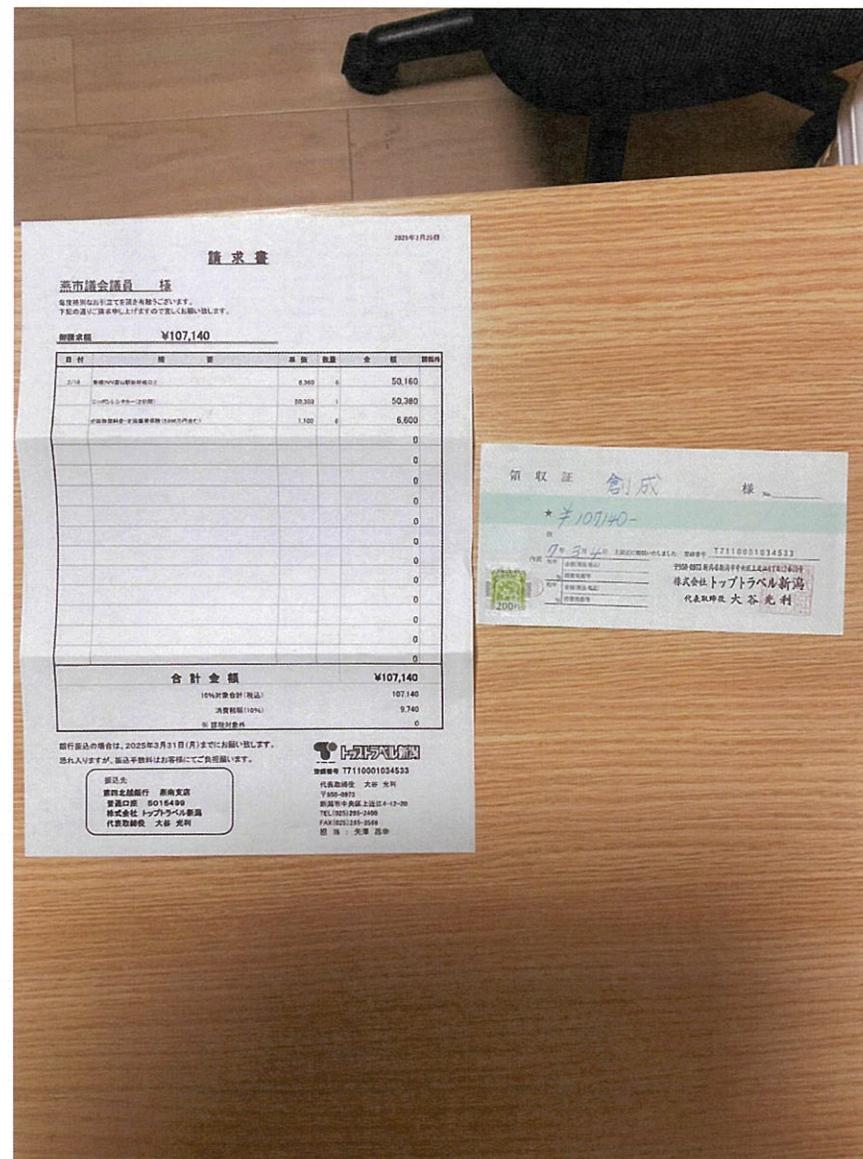
(1/2)

日付	令和7年2月18日	支出額	50,160 円
項目	調査研究費	充当額	50,160 円
細目	宿泊費	按分率	
支払先	トップトラベル新潟		
摘要			
備考			

支出伝票

0016

(2/2)



支出伝票

0017

(1/2)

日付	令和7年2月18日	支出額	440円
項目	調査研究費	充当額	440円
細目	交通費	按分率	
支払先	三井不動産リアルティ株式会社		
摘要			
備考			

支出伝票

0017

(2/2)



支出伝票

0018

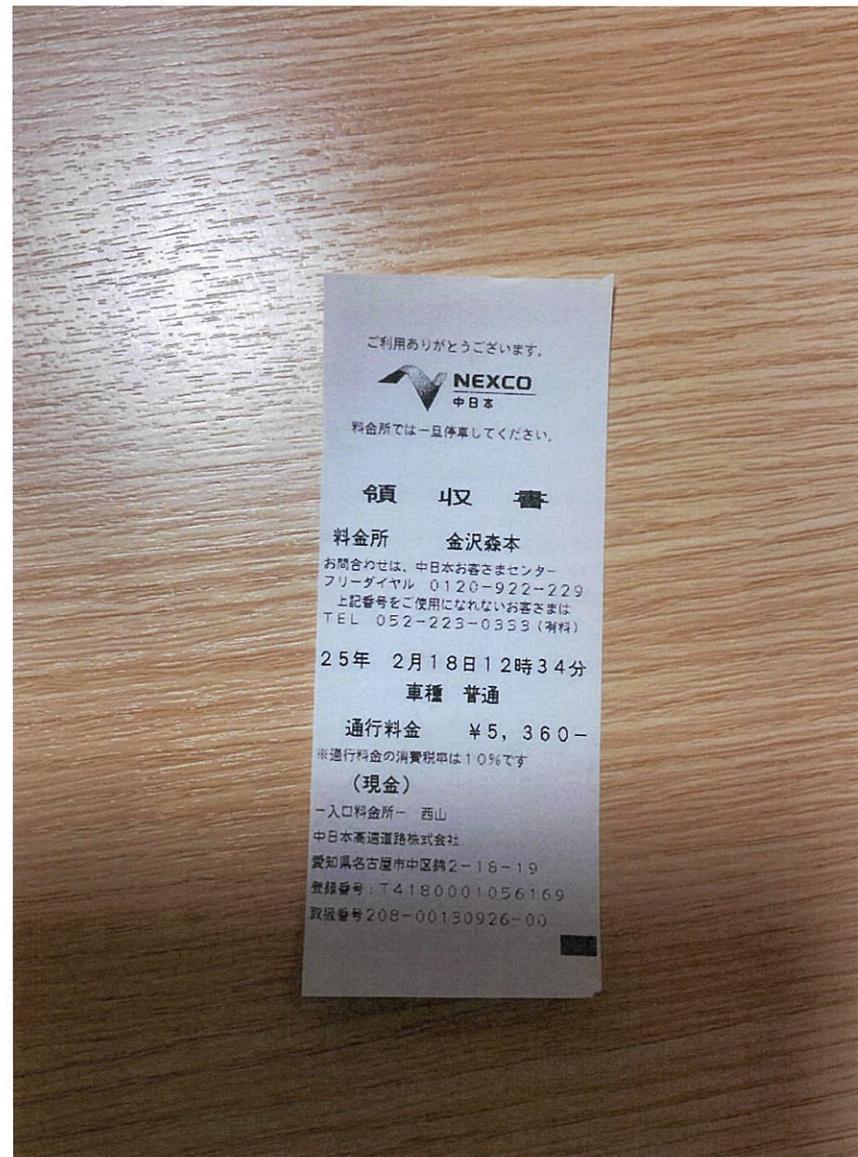
(1/2)

日付	令和7年2月18日	支出額	5,360円
項目	調査研究費	充当額	5,360円
細目	交通費	按分率	
支払先	中日本高速道路株式会社		
摘要			
備考			

支出伝票

0018

(2/2)



支出伝票

0019

(1/2)

日付	令和7年2月18日	支出額	1,540 円
項目	調査研究費	充当額	1,540 円
細目	交通費	按分率	
支払先	中日本高速道路株式会社		
摘要			
備考			

支出伝票

0019

(2/2)



支出伝票

0020

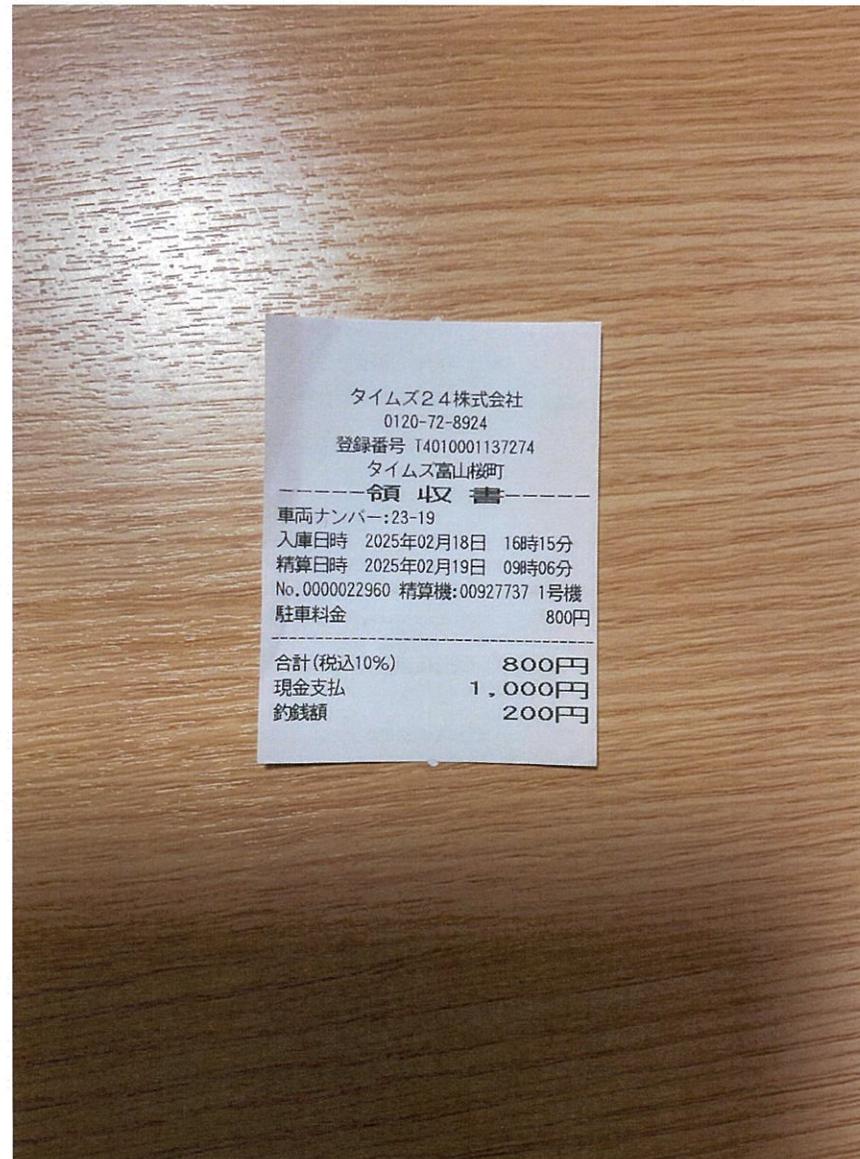
(1/2)

日付	令和7年2月18日	支出額	800円
項目	調査研究費	充当額	800円
細目	交通費	按分率	
支払先	有磯海 SA		
摘要			
備考			

支出伝票

0020

(2/2)



支出伝票

0021

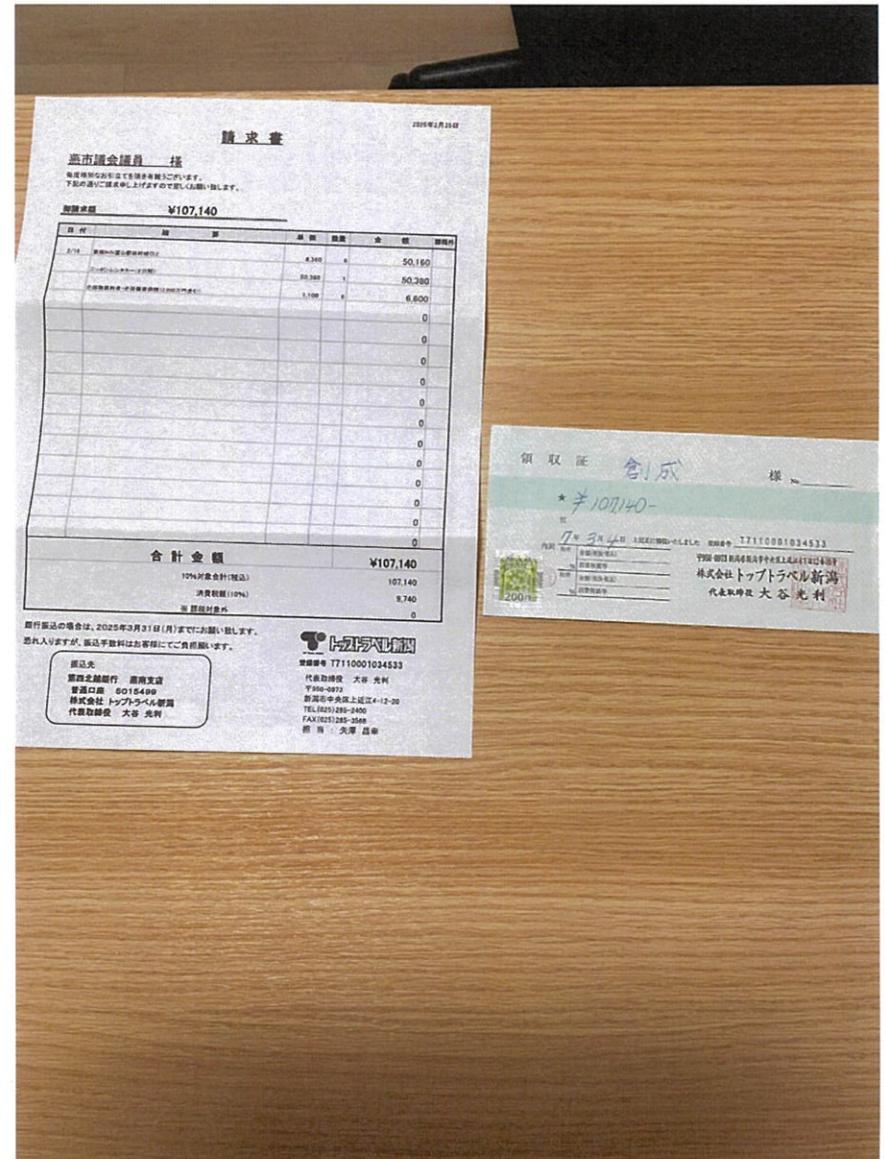
(1/2)

日付	令和7年2月18日	支出額	50,380 円
項目	調査研究費	充当額	50,380 円
細目	交通費	按分率	
支払先	トップトラベル新潟		
摘要			
備考			

支出伝票

0021

(2/2)



支出伝票

0022

(1/2)

日付	令和7年2月18日	支出額	835 円
項目	調査研究費	充当額	835 円
細目	食事代	按分率	
支払先	有磯海 SA		
摘要			
備考			

支出伝票

0022

(2/2)



支出伝票

0023

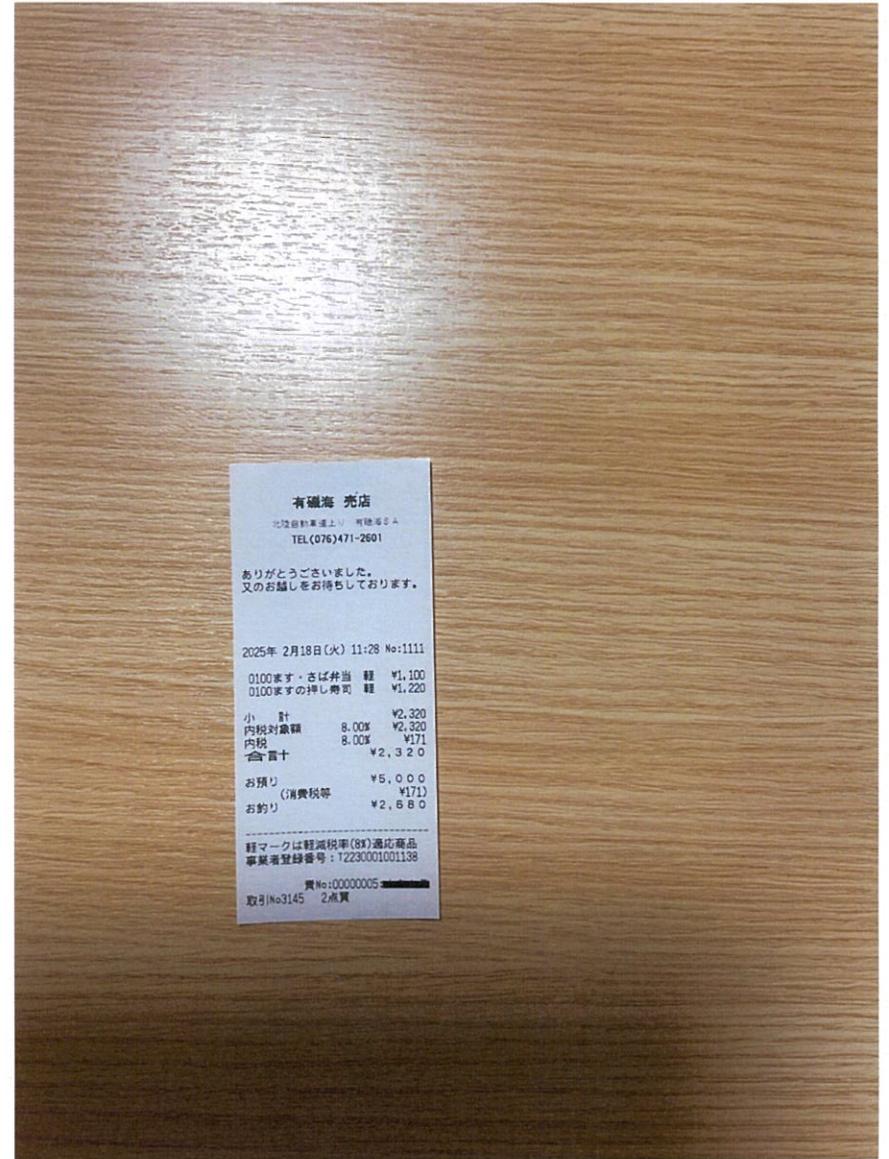
(1/2)

日付	令和7年2月18日	支出額	2,320 円
項目	調査研究費	充当額	2,000 円
細目	食事代	按分率	
支払先	有磯海 SA		
摘要			
備考			

支出伝票

0023

(2/2)



支出伝票

0024

(1/2)

日付	令和7年2月18日	支出額	1,420 円
項目	調査研究費	充当額	1,420 円
細目	食事代	按分率	
支払先	有磯海 SA		
摘要			
備考			

支出伝票

0024

(2/2)



支出伝票

0025

(1/2)

日付	令和7年2月18日	支出額	1,080 円
項目	調査研究費	充当額	1,080 円
細目	食事代	按分率	
支払先	有磯海 SA		
摘要			
備考			

支出伝票

0025

(2/2)



支出伝票

0026

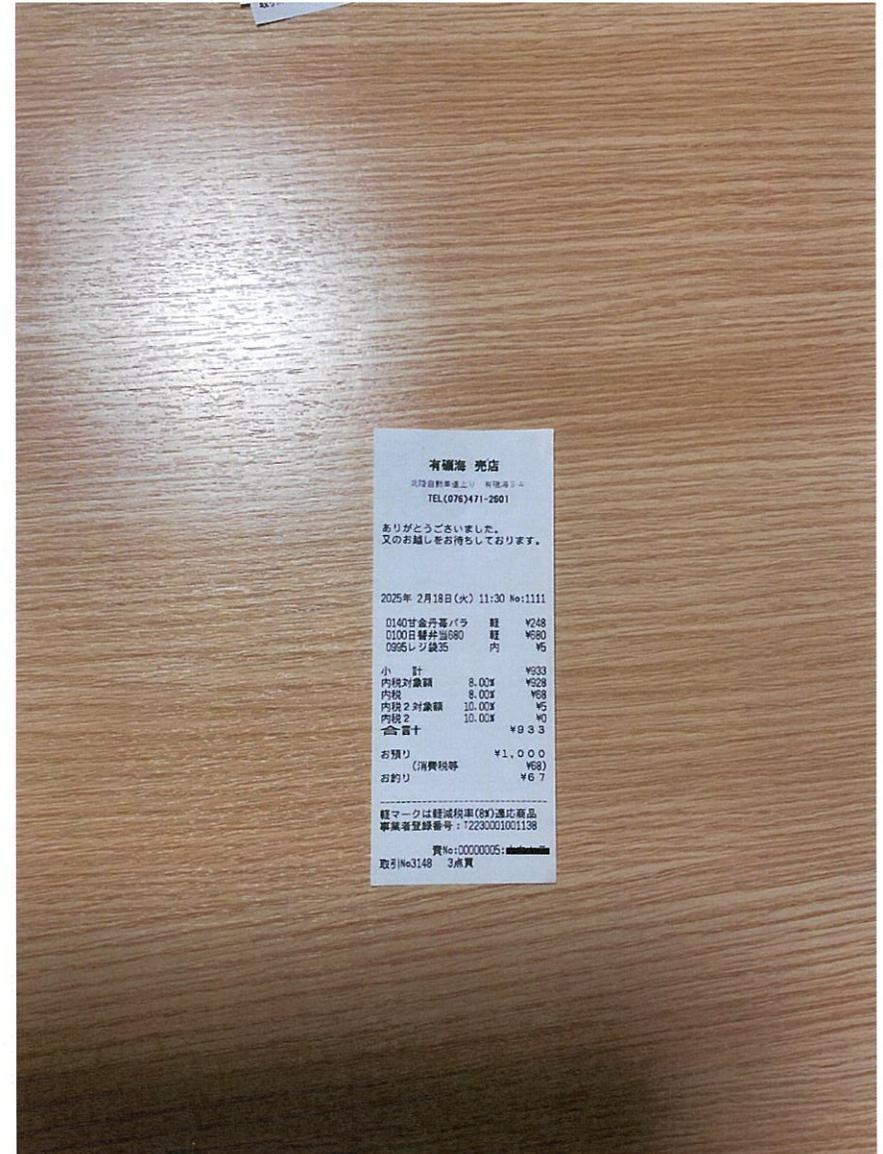
(1/2)

日付	令和7年2月18日	支出額	933 円
項目	調査研究費	充当額	933 円
細目	食事代	按分率	
支払先	有磯海 SA		
摘要			
備考			

支出伝票

0026

(2/2)



支出伝票

0027

(1/2)

日付	令和7年2月18日	支出額	753 円
項目	調査研究費	充当額	753 円
細目	食事代	按分率	
支払先	有磯海 SA		
摘要			
備考			

支出伝票

0027

(2/2)



支出伝票

0028

(1/2)

日付	令和7年2月18日	支出額	8,430 円
項目	調査研究費	充当額	8,430 円
細目	交通費	按分率	
支払先	品川グループ本社本町 SS		
摘要			
備考			

支出伝票

0028

(2/2)



支出伝票

0029

(1/2)

日付	令和7年2月19日	支出額	1,000 円
項目	調査研究費	充当額	1,000 円
細目	食事代	按分率	
支払先	有磯海SS下り線		
摘要			
備考			

支出伝票

0029

(2/2)



支出伝票

0030

(1/2)

日付	令和7年2月19日	支出額	1,053 円
項目	調査研究費	充当額	1,053 円
細目	食事代	按分率	
支払先	LAWSON 有磯海サービスエリア下り店		
摘要			
備考			

支出伝票

0030

(2/2)



支出伝票

0031

(1/2)

日付	令和7年2月19日	支出額	2,800 円
項目	調査研究費	充当額	2,000 円
細目	食事代	按分率	
支払先	株式会社ホテルニューオータニ高岡有磯海サービスエリア下り線		
摘要			
備考			

支出伝票

0031

(2/2)



支出伝票

0032

(1/2)

日付	令和7年2月19日	支出額	1,300円
項目	調査研究費	充当額	1,300円
細目	食事代	按分率	
支払先	有磯海SS下り線		
摘要			
備考			

支出伝票

0032

(2/2)



支出伝票

0033

(1/2)

日付	令和7年2月19日	支出額	1,000 円
項目	調査研究費	充当額	1,000 円
細目	食事代	按分率	
支払先	有磯海 SS 下り線		
摘要			
備考			

支出伝票

0033

(2/2)



2025.02.19
領収書
 様
 ¥1,000 -
 (消費税10%含む)
 領し、上記の金額正に受領いたしました
 有磯海 SA 下り線
 富山県魚津市湯上三ツ穴割 848

支出伝票

0034

(1/2)

日付	令和7年2月19日	支出額	4,863 円
項目	調査研究費	充当額	4,863 円
細目	交通費	按分率	
支払先	あいせき株式会社		
摘要			
備考			

支出伝票

0034

(2/2)



支出伝票

0035

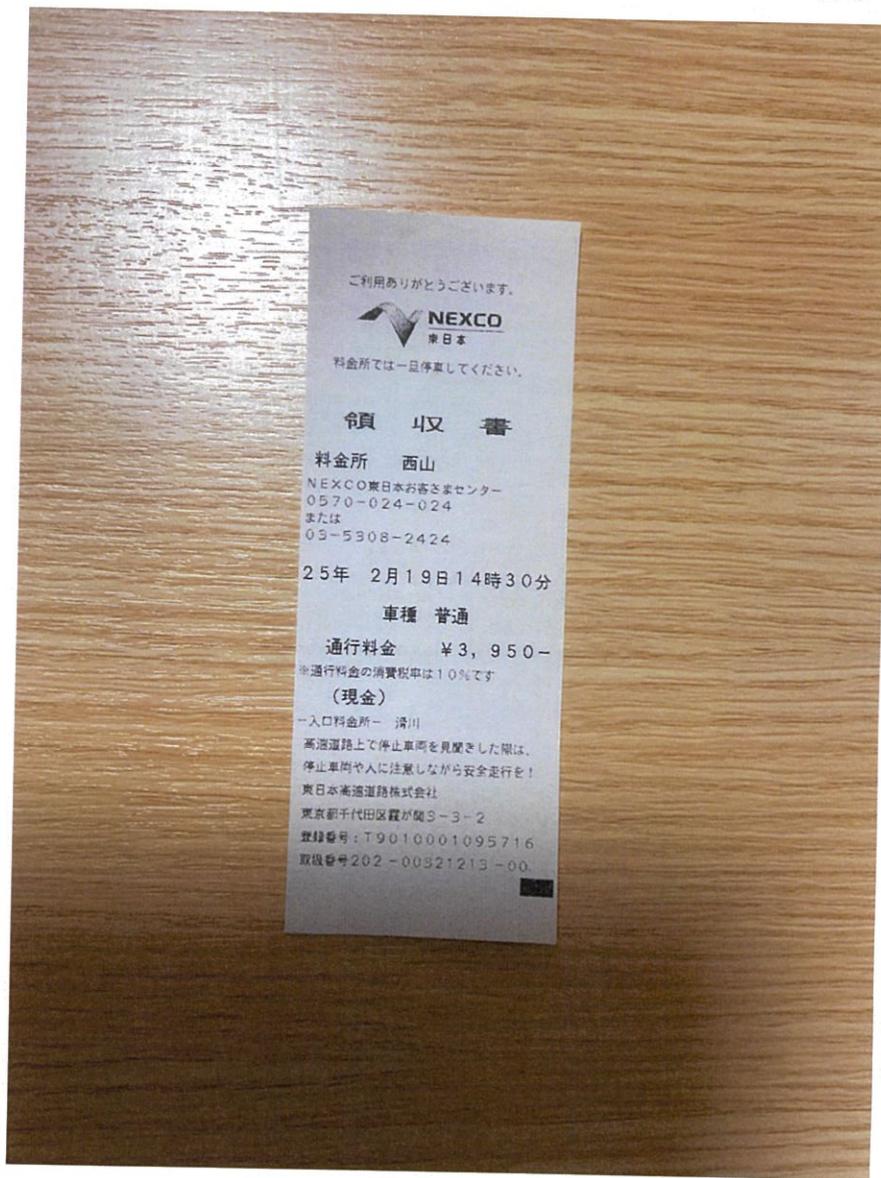
(1/2)

日付	令和7年2月19日	支出額	3,950 円
項目	調査研究費	充当額	3,950 円
細目	交通費	按分率	
支払先	東日本高速道路株式会社		
摘要			
備考			

支出伝票

0035

(2/2)



支出伝票

(1/2)

0036

日付	令和7年2月20日	支出額	732円
項目	調査研究費	充当額	732円
細目	食事代	按分率	
支払先	LAWSON 有磯海サービスエリア下り店		
摘要			
備考			

支出伝票

(2/2)

0036



創成 会派視察

1 期日 令和6年11月13日(水), 14日(木), 15日(金)

2 場所 長野方面 移動手段 貸切バス

3 内容

11月13日(水)	7:30	→	11:00	視察 1	12:00	→	→	13:30	視察 2	15:00	→	16:00	18:30
	燕市役所 出発		長野県立こども病院					昼食	松本 シュタイナー			ホテル着	夕食

11月14日(木)	8:00	→	9:30	視察 3	10:30	→	11:30	昼食	12:45	視察 4	14:30	→	16:00	18:30
	ホテル発		花田養護学校				カゴメ レストラン	カゴメ 野菜生活ファーム			ホテル着		夕食	

11月15日(金)	8:30	→	10:00	視察 5	11:30	→	12:00	13:30	移動	16:00
	ホテル発		小布施町視察				昼食	小布施町 出発	→	燕市役所 到着

	開始	終了
こども病院	11:00	12:00
松本シュタイナー	13:30	15:00
花田養護学校	9:30	10:30
カゴメ	11:20	14:30

視察1 長野県立こども病院 〒399-8288 長野県安曇野市豊科3100 TEL:0263-73-6700
 視察2 松本シュタイナー認定こども園ひなたぼっこ 〒390-1401 長野県松本市波田10371-3
 視察3 長野県花田養護学校 〒393-0093 長野県諏訪郡下諏訪町杜花田6525-1
 視察4 カゴメ野菜生活ファーム富士見 長野県諏訪郡富士見町富士見9275-1
 視察5 小布施町 (アポなし)

行政視察報告書

委員会名（会派名）	創成	報告者	大島靖浩・稲村隆行・高橋妙子・小林秋光・齋藤信行
視察日程	令和6年11月13日～11月15日		
調査事項及び視察地	① 長野県立こども病院 ② 松本シュタイナー ③ 長野県立花田養護学校 ④ カゴメ野菜生活ファーム ⑤ 小布施町立図書館「まちとしょテラソ」		
参加議員（委員）	小林由明、齋藤信行、岡山秀義、大島靖浩、稲村隆行、小林秋光、齋藤和也、高橋妙子		
<p>【調査目的・内容】 長野県立こども病院の業務内容に係る調査 長野県立こども病院の業務を参考とした県央地区における医療体制の充実について</p> <p>【所感】</p> <p>1 長野県立こども病院 長野県立こども病院（以下「こども病院」という。）は長野県安曇野市に所在し、昭和59年に長野総合5か年計画において、小児総合医療体制の整備について検討を始め、平成3年に竣工した。標榜診療科は24科と11の専門センターを有し、病床は200床、常勤医師数は109人、看護師数312人、職員数は600人である。</p> <p>2 こども病院の特徴 開院時のミッションは新生児・小児も死亡率の低減、長野県内（以下「県内」という。）での医療の完結である。 県内の出生数は減少傾向であるにもかかわらず、こども病院への入院数は増加傾向にある。 入院患者の居住地は、20キロメートル以上離れた地域からが半数以上であり、かつ、隣県や関東圏から外来受診も多い。</p> <p>① 救急医療の状況については、年々増加傾向であり、特にドクターヘリとドクターカーは効果的である。なお、ドクターカーの購入に当たっては1台5千万円と高額であり、クラウドファンディングを活用している。なお、救急搬送に係る費用として年間2千万円を超える額を支出している。また、県内は、小児人口当たりの重症患者受け入れ件数が全国で最も多く、結果として、予測死亡率を大きく下回る有効性がある。 燕市においても県立吉田病院及びロンリーネの杜が医療的ケア児のケアを行っているが、県内においても、10年間で2倍、在宅人工呼吸器は5倍以上に増加しており、内訳として低年齢化・重症化が進んでいる。 医療的ケア児に対して、多数の関係者が関与しており、医療、福祉、教育、行政機関とが連携している。 こころの診療科において近年ニーズが高くなっており、特に、児童虐待による重症者が増加し、圏域を超え受診している。</p> <p>3 所感 県央基幹病院や労災病院跡地に建設予定である特別支援学校は県央地域においては欠かせない重要な施設である。それらの更なる発展には、上述したこども病院のような役割を果たすことで地域の</p>			

ハブ機関となり各関係機関（医療、教育、行政機関等）との有機的な一体感と連携を保持することは、県央地域に住む住民にとって安全と安心を提供できる好材料となり、結果として、定住人口が増加することに繋がれば燕市においても有益にはたらくことが思料される。
よって、病院の機能を最大限に高めることで人口増加の要因となることを期待して所感とする。

【調査目的・内容】

自然の中でひとりひとりの個性を尊重し、能力を引き出す教育を実践する「松本シュタイナー教育認定こども園ひなたぼっこ」を訪問し、教育方法やポイントを調査して本市に活かす。

【シュタイナー教育について】

哲学博士のルドルフ・シュタイナー氏が提唱した教育方法。1919年にドイツの学校でシュタイナー教育が取り入れられ、現在は世界中に広がっている。子どもひとりひとりの個性を尊重し、知識を詰め込むのではなく、豊かな心で自分の能力を発揮させ、人間形成を行うことを目的とする。芸術作業を重要視し、主に手足を動かした教育・活動を実施している。

【松本シュタイナー教育認定こども園ひなたぼっこ（以下ひなたぼっこ）の特徴】

・2009.4.12 設立。2015.10.13 信州型自然保育認定制度*を開始。ひなたぼっこは初年度から同制度の認定を受け、園庭や近隣の自然公園の中で子供たちがダイナミックに活動し、生きる力を育んでいる。

・園内の家具やおもちゃが自然素材で手作りされている。大人が子供たちと一緒にそれらを作る過程も楽しむことで集中力や行動力、柔軟な発想を育むことにつながっている。（写真②）

・少人数・縦割り保育を採用。異なる年齢の子供を一緒に保育することで、年上の子が年下の子を気にかけてお世話をして自信が持てるようになり、年下の子は年上の子に憧れ真似をしたりするなどの経験を通じて社会性・協調性を育てていく。

・子供たちが種をまき、苗を植えて季節の野菜を育て、収穫して給食に使用することで、自然との関わりや命の尊さを学んでいる。また添加物をなるべく使用せず、地元の自然農法センターの食材を積極的に使用している。

② 自然に触れる、本物に触れる機会を重視しており、田植え、さつまいも掘り、こんにゃくづくり、羊の毛刈り等、地域の方々の協力を得ながら、年間を通じて子どもたちは季節に応じた活動を行っている。

・保育園、幼稚園両方の機能を持つ地方裁量型の認定こども園であり、通常の保育の現場では使われないロープ、はさみ、火についても、大人の指導のもとで子供たちは使用している。通常の保育園の3倍近い数の職員が配置されている。

・ピアノなどの演奏にあわせた詩の朗読など、言葉の響きにあわせて体を動かすオイリュトミーと呼ばれる智学運動や、自然素材の蜜ろうクレヨン、蜜ろう粘土を使用した活動など、芸術に重点を置いた教育をおこない感性を磨いている。

※信州型自然保育認定制度（信州やまほいく）：すべての子どもが心身ともに健やかに成長できる環境を整備する目的で、豊かな自然環境や地域資源を積極的に取り入れた保育の普及を図っている。

【質疑応答】

（質問）子供たちがキャラクターものの服を着ていないが、決まりがあるのか？

（回答）園から保護者に「子供が好きな色の服を着させるようにしてください」とお願いしている。

（質問）自然の中での活動が多いが事故は発生しないのか？

（回答）設立以来、大きな事故はなし。子供は危険をよくわかっており、身の丈以上のことはやらない。遊具については、専門家が安全性を管理している。

（質問）通常の保育園の3倍近い職員が配置されているということで、人員の確保に困っていないか？また保育料が高額になってしまわないか？

（回答）職員は13年間同じメンバーで人員不足には陥っていない。他の園と同様に定められた保育料（3～5歳は無料）の他、教育充実費（バス、教材費）、利用者負担、主食、おやつ代等を合わせて15,000円程度の費用が別途かかる。

【所感】

現場を見学していた際、絵を書く活動の時間が終わり、その後に人形劇の時間となったが、人形劇に集まってこない子どもがいた。職員は無理に参加させようとはせず、子どもが自発的に動くまで横に寄り添っていた対応が印象的だった。生き方価値観が多様化している現代において、ひとりひとりの特製に応じた教育の重要性を感じた。また自然や芸術活動で感性を磨くことが心の豊かさを育み、能力の発展につながっていくなど、今回の視察での学びを本市の教育・保育に活かして行きたいと考える。

【調査目的・内容】

重度の障害や医療的ケアを必要とする子どもたちが地域の中で安心・安全に参加できる場づくりが急務になっている現状の中で、花田養護学校での取り組み等の実態を把握することで、燕市の重度重複の子どもたちと保護者の方々がより安心し、住みやすいまちにするにはどのようにしていくべきか研究し、議員として出来ることを学ばせて頂くことを目的とする。

【所感】

医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律が令和3年9月から施行された。医療的ケア児を子育てする家族の負担を軽減し、医療的ケア児の健やかな成長を図るとともに、その家族の離職を防止することを目的としているが、医療的ケア児の保護者が離職をし、医療的ケア児の生活介助に専念せざるを得ないことが大きな課題となっている現状はいまだ変わりはない。

視察先である長野県花田養護学校は、信濃医療福祉センターに併設されている肢体不自由養護学校である。建物は四階建てで、1・2階は信濃医療福祉センターで医療、訓練を行っており、3・4階は学校で3階が小学部・中学部・4階が高等部になっている。

信濃医療福祉センターでは、親子病棟が設置されており、約1ヶ月間、療育に必要な知識や技術の習得を目指し、他の親子と共に生活をし互いに学び合うことが出来る。

③ 県立養護学校を併設した医療障がい児入所施設は全国でも珍しく、県外からの利用者もいる。

医療と教育がより密に連携することにより、充実した療育支援の実施が図られることは医療的ケアを必要とする子どもたちだけではなく、その保護者にとっても安心できると考える。

冒頭でも述べたように、医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律では、その家族の離職を防止すると掲げている。

しかし、医療的ケア児が過ごせる施設には看護師など医療的ケアを施す専門的なスタッフの配置が必要であり、医師や看護師が不足している現状の中での看護婦の確保は難しく、さらに国からの補助が少ないために事業運営が厳しいことが課題としてあげられる。

医療的ケア児を受け入れる施設が極端に少ないことによって、預ける先がない家族は、24時間常に一緒に過ごすことになり、離職どころか、仕事をみつけることさえ困難になる。

医療的ケア児が過ごせる放課後デイサービスの設置、看護師等の適正配置がなされるように医療従事者の確保の支援体制強化をし、医療的ケア児の保護者、家族が安心して過ごせる環境整備を図ることが喫緊の課題であることを、今回の花田養護学校の視察で改めて学ばせていただいた。

医療的ケア児と家族の皆さんを取り巻く課題は燕市でも同様であり、市議会議員として何が出来るか、丁寧なヒアリングを重ねながら、花田養護学校で教えていただいたことを踏まえて、今後の活動に活かしていきたい。

【調査目的・内容】

地域農業の持続可能な発展と農業の観光資源の活用について
概要

「カゴメ野菜生活ファーム富士見」は1968年に創業開始したカゴメ富士見工場の近くに位置し、2019年に「体験型野菜のテーマパーク」としてオープン。周囲の遊休農地を活用し、カゴメの理念「畑は第一の工場」を体現する場所として、多様な企画を展開している。工業・農業・観光が一体となった施設は、地元富士見町のにぎわい創出に大きく貢献している。

1. 施設見学

- ファームハウス 地元食材やカゴメ特製の「野菜だし」を使用したイタリアンレストランとショップが併設されている。
- アグリパーク 旬の野菜の収穫が体験できる施設。
- トマトの樹 観光用温室で、1粒の種から成長し、1万個の実をつけるトマトの樹を見ることが出来る。

2. 事業説明

- ④ 2023年10月カゴメ野菜ファーム株式会社代表取締役役に就任した川口 様より説明をうける。
- ・施設設立の背景や地元富士見町への感謝の想い。
 - ・遊休農地の解消を目的とした地域課題への取組
 - ・コロナ禍での運営改善やVR、AR技術の活用による工場見学の進化。
 - ・地元小学校との協力によるひまわり栽培プロジェクトコンテンツ。

【所感】

視察を通じて「カゴメ野菜ファーム富士見」の成功事例を学びました。特に高リコピントマトの栽培による差別化や、環境に配慮した栽培方法は燕市でも参考にすべきポイント。燕市でも桃太郎トマトに次ぐ新品種選定を進めることで、地域農業のブランド化を図る必要性を強く感じた。

地域農業の持続可能な発展と、農業という観光資源の利用も検討していく必要があると感じた。

1. 高リコピントマトのような新しい品種の選定と導入を進め、燕市農産物のブランド力を強化する。
2. 地元の農業体験を観光資源として活用し、地域のにぎわい創出を図る。
3. 環境にやさしい栽培方法を導入し、持続可能な農業を推進する。

【調査目的・内容】

交流と創造を楽しむ文化の拠点
小布施町立図書館まちとしょテラン

⑤

【所感】

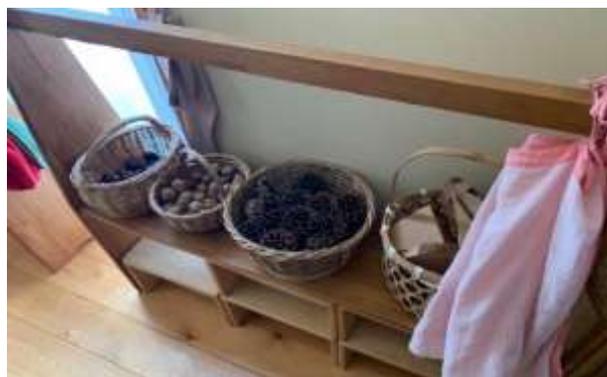
小布施町立図書館まちとしょテランは、町役場の隣にあり、JR駅のすぐ近くで行きやすく、コンパクトに出来ていて、使いやすく感じました。本の借り入れには押し車もあり、足の悪い人には大変感謝されると思います。

【視察の様子】

① 長野こども病院



② 松本シュタイナー



③ 花田養護学校



④カゴメ野菜生活ファーム



観光温室へのご案内

- こちらの温室はどなたでも入場できます。
- 室内での撮影OKです。
- 長期展示するため、お手を触れぬようお願いいたします。

KAGOME 野菜生活 Farm



① 小布施町立図書館「まちとしょテラス」



令和6年度創成行政視察工程表

【視察メンバー】：小林(由)、岡山、小林(秋)、高橋、稲村、齋藤(和)

【日程】：2月18日～19日

【視察先】：石川県金沢市、富山県中新川郡舟橋村

日程表	場所		所要時間	備考欄	
2月18日	燕市役所		7:50 集合	〒959-0221 新潟県燕市吉田西太田 1 9 3 4	
			8:00 出発	300 うち15分休憩×2回、60分×1回(昼食自由1000円/人) 有磯海サービスエリア予定	
	石川県立図書館	東横INN富山駅新幹線口2		13:00 到着	90 〒920-0942 石川県金沢市小立野 2 丁目 4 3 - 1
				14:30 出発	90 https://www.library.pref.ishikawa.lg.jp/
				14:30 出発	90 https://www.library.pref.ishikawa.lg.jp/
	夕食	大衆食堂 安べゑ 富山駅前店		16:00 到着	〒930-0003 富山県富山市桜町 1 丁目 4 - 1
				17:20 集合	https://taisyu-yasube.com/toyama/?utm_source=google_map&utm_medium=map
			17:30 開始	飲み放題4500円	
	2月19日	東横INN富山駅新幹線口2		9:00 集合	
				9:10 出発	30
fork toyama			9:40 到着	〒930-0289 富山県中新川郡舟橋村竹内 3 2 5	
			11:30 出発	https://maps.app.goo.gl/GbtU6YyZg2eCBfRw5	
燕市役所			16:00 到着	高速270 うち15分休憩×2回、60分×1回(昼食自由1000円/人) 有磯海サービスエリア予定	
			18:30 到着	下道420 うち15分休憩×4回、60分×1回(昼食自由1000円/人) 有磯海サービスエリア予定	

行政視察報告書

委員会名（会派名）	創成	報告者	小林由明 高橋妙子
視察日程	令和7年2月18日～2月19日		
調査事項 及び 視察地	① 石川県立図書館 ② 富山市立図書館 ③ Fork toyama ④		
参加議員（委員）	小林由明 岡山秀義 齋藤和也 小林秋光 稲村隆行 高橋妙子		
①	<p>【調査目的・内容】燕市立図書館の今後の議論に向けた調査</p> <p>□ 概要 石川県立図書館は、金沢大学工学部跡地に建設された地上4階、地下1階の図書館施設である。延べ床面積は約22,000㎡、開架冊数約30万冊、書庫収納冊数約200万冊を有し、閲覧席は約500席。総事業費は約150億円。2022年3月竣工式が行われ、愛称は「百万石ビブリオバウム」と命名された。</p> <p>□ 特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 外観： <ul style="list-style-type: none"> ○ めくられる本のページをイメージしたデザインであり、金沢の街並みに調和しつつも重厚感のある外観を呈する。 ● 内装： <ul style="list-style-type: none"> ○ ローマのコロッセオを彷彿とさせる円形劇場のようなデザインであり、中心部から3階にかけて書棚が連なっている。 ● 書棚： <ul style="list-style-type: none"> ○ 表紙が見えるように配置され、書店のような回遊性を生み出している。 ● 閲覧スペース： <ul style="list-style-type: none"> ○ 多種多様な椅子が配置され、利用者は思い思いの場所で読書を楽しむことができる。3階には本格的な調べ物に対応するテーブル席も用意されている。 ● 色彩設計： <ul style="list-style-type: none"> ○ 館内は加賀五彩（藍、臙脂、黄土、草、古代紫）でエリア分けされ、石川県らしさを演出している。 ● ブリッジ： <ul style="list-style-type: none"> ○ 3階の渡り廊下からは館内を360度見渡せ、特別な空間体験を提供している。 ● 貸出： <ul style="list-style-type: none"> ○ 館内各所にセルフ貸出機が設置され、利便性に配慮している。 <p>□</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デザイン： <ul style="list-style-type: none"> ○ 外観、内装ともに洗練されており、利用者の知的探求心を刺激する空間設計となっている。特に、コロッセオをイメージした中央の吹き抜け空間は圧巻である。 ● 利便性： <ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な閲覧スペースやセルフ貸出機の設置など、利用者の利便性を考慮した設計がなされている。 ● 地域性： <ul style="list-style-type: none"> ○ 加賀五彩の採用や外観デザインなど、石川県の伝統や文化を随所に感じることができる。 		

石川県立図書館が令和4年7月に策定したサービス計画と、その中期経営プランをまとめた内容は以下の通りである。

1. サービス計画策定の背景と目的

石川県立図書館は、老朽化による移転・建替えを機に、県民の多様な文化活動・交流の場となることを目指し、新たな図書館像を提示するサービス計画を策定した。

2. 基本理念と重点戦略

サービス計画では、基本理念を「思いもよらない本との出会いや体験によって、自分の人生の1ページをめくることができる場所」と定めている。

この理念を実現するため、以下の4つの重点戦略と9つの施策を掲げている。

○ 重点戦略

- 知的な活気にあふれ、新たな出会いと進歩を後押しする
- 県民に寄り添い、県民とともに成長する
- 知と文化の象徴として多様な情報を集積する
- 唯一の「県立」として、積極的に幅広い連携・支援・発信を担う

○ 施策

- 知識を深め、アウトプットに役立つ場・体験の提供
- 多くの県民を惹きつける魅力的なイベントや企画展の実施
- 県民が抱えるライフステージ上の悩みや課題へのサポート
- 幅広い利用者に対応した多様なサービスの提供
- 図書館を支えるハイレベルな職員の養成
- 石川ならではの情報を含む多様な資料の収集・整備
- 快適な情報へのアクセスと閲覧環境の提供
- 県内の図書館や学校の支援、高等教育機関や文化施設等との連携・支援
- 効果的で訴求力のある広報の展開

3. 具体的取組み（中期経営プラン）

各重点戦略に基づき、具体的な取組み内容を定めている。

モノづくり体験、食文化体験、イベント開催、企画展、テーマ別エリア、参考資料・医療情報の充実、情報リテラシー向上、児童サービス、ユニバーサルサービス、職員研修、資料収集・整備、情報アク

セス環境整備、連携事業、広報活動など、多岐にわたる事業を計画している。

4. 点検と評価

サービス計画の進捗状況は定期的に点検・評価され、必要に応じて見直しが行われる。

評価指標としては、年間来館者数、利用者カード新規登録者数、年間貸出冊数、検索システムでの検索可能件数、利用者満足度などが挙げられる。

5. 組織体制

4つの課（経営管理課、利用創出課、閲覧サービス課、歴史公文書・郷土資料課）体制で運営する。

司書を含む正規職員の増員、業務委託や機械化による効率化を図る。

6. 条例と運営要綱

石川県立図書館の設置、事業内容、利用方法などを定めた条例と、協議会の運営要綱が定められている。

【所感】

は供用開始約3年、年間100万人超の日本一の来館者数を誇っており、その人気は高く都市に与える様々な効果があると考えられる。図書館機能だけでなく、図書館が今後、都市経営に与える影響についても注視したい。

【調査目的・内容】 燕市立図書館の今後の議論に向けた調査

1. 施設概要

- 施設名：富山市立図書館本館（TOYAMA キラリ）
- 所在地：富山市
- 竣工年月：2015年8月
- 設計：隈研吾建築設計事務所
- 構造：地上4階、地下1階
- 延床面積：約15,000m²
- 蔵書数：約45万冊
- 施設内容：図書館、ガラス美術館、カフェ、ショップ
- 総事業費：約130億円

2. 視察内容

- 外観：立山の氷の岩脈をイメージした外観は、ガラスを多用し、光の反射が美しい。
- 内装：富山県産の杉材をふんだんに使用した内装は、温かみがあり、居心地の良さを感じさせる。
- スパイラルボイド：館内を斜めに貫く吹き抜けは、開放感があり、印象的。
- 図書館：一般図書、児童図書、専門誌など、多様なニーズに対応する蔵書構成。
- ガラス美術館：ガラス工芸品を展示し、富山の文化を発信する拠点。
- その他：カフェやショップなど、利用者の利便性を高める施設も充実。

3. 評価点

- デザイン性：隈研吾氏設計による建物は、外観、内装ともに美しく、図書館のイメージを一新する斬新なデザインである。
- 機能性：図書館、美術館、カフェ、ショップなど、多様な機能を持つ複合施設であり、利用者の満足度を高める工夫がされている。
- 地域性：富山県産の杉材を使用するなど、地元の資源を有効活用している。
- 利便性：市内電車駅から徒歩圏内であり、アクセスも良好である。

4. 課題点

- ・ 維持管理：美しい建物を維持するためには、定期的なメンテナンスが必要である。
- ・ 情報発信：施設の魅力を十分に発信し、集客力を高める必要がある。

【所感】

- ・ 富山市立図書館キラリは、デザイン性、機能性、地域性に優れた複合施設であり、富山市の文化振興に大きく貢献している。
- ・ LRT といった充実した公共交通により、多世代が訪れやすい施設になっており、多くの方が知へのアクセスを高め、かつ歩いて暮らせる利便性の高い健康的な都市を実現している。

【調査目的・内容】

学童施設の在り方、子どもたちの健全な育成を学び今後活かすことを目的とする。

【所感】

- ・ 「みんなで営む」という意味を持つ民営化を掲げる forktoyama は、運営費の6割が寄付金3割が助成金、1割がカフェの売上でまかなわれており、保育料は完全無料となっている。
- ・ 登録児童は54人であり、誰もが子育てに参画できて、まちや社会全体で子どもを育てようとする仕組みを提供しているところは、燕市のみならず今の日本全体でも「そうであって欲しい」と思わせる取り組みであり、非常に興味深い。
- ・ 奇跡の村と呼ばれている富山県舟橋村の平均年齢は40歳であり、1990年に1371人だった人口は2024年9月時点で3303人と2.4倍になった。
- ・ 駅のは図書館も併設されており、送迎待ちの子どもたちの居場所としても利用されている。
- ・ 村全体で子どもを見守り、育てていこうとする姿は、やはり魅力的であり、ここに住みたいと思わせてくれるには十分なマチの形であった。
- ・ 今回の視察で学んだこと、感じたことを燕市の子育て環境やまちづくりの一環に活かしていきたい。

【調査目的・内容】

【所感】

【視察の様子】

① 石川県立図書館



② 富山市立図書館

